

# 火曜会通信

2007(H19)・11・01 発行

伊丹市千僧 1-1 伊丹市教育委員会事務局内

## タイアップ事業の総括

細川 勝海

今年の市民活動タイアップ事業は、助成金申請から11期生を中心に計画・実施する方針が会長より提案されました。これを受けて、11期生は一致団結し、コース下見や打ち合わせを繰り返し行い、「伊丹の歴史と自然にふれよう！」という題目を掲げて内容を吟味し、申請書の提出・厳しい審査会を経て、助成金が申請通りに満額承認されてしまいました。さて、今回のタイアップ事業は、7月10日の西山先生講演『行基・重源・公慶 - 東大寺大仏の造立と復興』と9月15日の『伊丹市南部の文化財・巨木めぐりとむぎわら音頭』の2回に分けて実施しました。7月は、真夏日に冷房のない岡田家酒蔵で実施したにも関わらず、満員御礼の大人気となり、主催者側として予定外の喜びに浸る事ができました。しかし、予想外のトラブルにも見舞われ、一部の批判を浴びましたが、講演者の適切な判断に助けられ、大部分の方には満足して頂ける企画であったと思います。只、平日開催と言うこともあって、60歳以上の方々の参加が90%を占めており、この年代の方々がこの様な企画を如何に望まれているかが窺い知れました。又、伊丹市外在住の参加者も19名(約20%)居られました。尚、著名な先生であれば有るほど、事前打ち合わせの設定が難しく、当日のトラブルともなり易いことを実感した次第です。9月の第2回目は、御願塚古墳から了福寺までの散策と、むぎわら音頭の体験でしたが、座って聞く講演会とは異なり、自らの足で歩く必要から、参加者も半減してしまいました。更に、参加者アンケートの準備不足から、参加者の意見を収集できない事態に見舞われましたが、参加者の会話からは、「今日は来て良かったとか、楽しかったね」と聞く事ができ、参加して頂いた方々には、大いに楽しんでもらったのではないかと思います。午後の部では、人集めに奔走する場面もありましたが、少人数ながらも、おもちゃ作りで子供たちがあれもこれもと大賑わいしてくれました。最後には、お母さん方が競い合って製作に夢中でしたので、終了時間の延長を余儀なくされましたが、これも微笑ましい情景で花を添えてくれたのではないかと考える次第です。当然のことながら、11期生だけではなし得なかった事業を遂行することができました事を、応援して下さいましたボランティア会員の皆様方や巨木の会の皆様方、並びに、お役所関係の方々に御礼申し上げます。皆様、本当にありがとうございました。



11期生の皆さん、お疲れ様でした。これからも頑張りましょう。「感謝！」

## 富田林市を訪れてーその魅力

中川 康

富田林の魅力はなんといっても新旧の世界が渾然と入り混じっていることだろう。近鉄富田林駅を降りれば、西にPL教団のシンボル大平和記念塔と聖地、東に浄土真宗興正寺別院と寺内町の見事な家並み、素晴らしい。先ず、国重要文化財の旧杉山家住宅を見学、建物の特徴は南河内農家風建築様式であり、建物母屋は煙返しのある農家風の土間と、床の間や書院を備えた座敷（数奇屋風建築）を有する。これに比べ、伊丹市の国重要文化財旧岡田家住宅は、店舗・釜屋・酒蔵からなり、都会的な洗練された構造となっている。寺内町に入ると、富田林御坊を中心に七筋八町の碁盤目状の町割りが依然として残っている。酒造業で栄えた杉山、仲村、葛原、奥谷、橋本家の藝の並び、軒々の豪勢さ。これらが未だに残るのは何故だろうか？戦国末期には、大坂寺内町を中心に、寺内町から周辺村落まで、地域的には摂津、河内、和泉から広く諸国に広がる、政治・経済・宗教が三位一体となったネットワークが実現していた。大坂寺内町が織田信長と激しく戦っていた頃、富田林寺内町が、ネットワークから離脱して、織田信長に恭順を示し和平を選択した力、判断基準は何だったか？その真実を知りたいものである。つぎに、新堂廃寺址とそのすぐ西の丘陵上にあるお亀石古墳を訪れた。新堂廃寺は七世紀前半、塔と金堂、講堂が南北一直線に並ぶ「四天王寺式」伽藍配置で創建。間もなく焼失し、白鳳・天平期に同一位置に同一規模で再建された。最近の発掘で、東方建物の基壇と回廊の一部が出土し、同規模の建物が東西に対称に建っていたことや回廊がそれぞれに繋がっていたことが判明、「新堂廃寺式」と呼ばれる特異な伽藍配置の全容がほぼ解明された。講堂の基壇は瓦積基壇であることが分り、また塔、金堂も地覆石を置く瓦積基壇であることが推定される。これに対し、伊丹廃寺の伽藍配置は「法隆寺式」で、東に金堂、西に塔を並列して南面している。これらを回廊がぐるりと囲み、金堂北方の回廊外に講堂があった。金堂跡では、地覆に磚を敷き、その上に栗石と瓦とを交互に積み重ねて造られている。塔跡では、地覆に磚を用いず、瓦だけを積み重ねている。新堂廃寺址は一面の空き地として放置され、説明書きも消えかけ不十分であり、その価値を知らしめるに余りにも保護されていない。これらをせめて伊丹廃寺のように整備するべきである。お亀石古墳は古墳時代末期（七世紀前半）の石棺式石室（横口式石槨）をもつ典型的な古墳である。古墳は、その丘陵が南東に突出した尾根上にあり、四神相応の地として風水思想に基づいて選ばれたと思われる。富田林市は、この古墳の重要性に鑑み、駅や道路でその位置方向性を明確に示し、案内文にも一工夫するべきである。伊丹市南部の平地にある御願塚古墳は、古墳時代中期（五世紀後半）に造られた前方後円墳（帆立貝式）であり、稲野古墳群の一基である。現在は史跡公園になり、見学しやすくなっている。



富田林が自然と歴史を大切にしたい素晴らしい町であり続けることを祈るばかりである。

国宝 400 年祭	彦根城を見学して	安永繁美
-----------	----------	------

私たち 11 期生 9 名が青春切符を手に降り立ったのは彦根駅 暑い夏で毎日がうだされていた日々  
のなか その日は雨模様の日に変わっていました。彦根城は関が原の合戦後、徳川家康の命で築城に  
着手。約 20 年もの歳月が費やされて完成しました。城郭の涼しげな木々は当時、城郭の構造を隠すと  
ともに非常時には食料や薬として使うために植えられたもの、堀切をはじめ中世らしい山城の防御策  
や大名庭園が城内に現存するなど城郭としてまとまりのある姿を今に伝える大変貴重な歴史遺産だそう  
です。

駅を降りてまずは案内所へ そこで 4 箇所めぐり抹茶つきセットのひこにやんぱんを手にする。そして  
まず重要文化財馬屋を見学しました。元禄時代に建てられ、常に十数頭の藩主用の馬がつながれていた  
もの、昭和 43 年に解体修理されこけら葺きの屋根が美しい 城内に残る馬屋は彦根城だけであるとか  
お殿様の馬は人間様以上に大事にされたろうに と馬を皆で敬ったりした 来世は馬も悪くないかなあ  
などと苦笑する。次は博物館へ、江戸時代の彦根藩の政庁であった表御殿を復元したもので、昭和 62  
年彦根市制施行 50 周年を記念して博物館として開館されました。 特別企画展<百花繚乱 彦根歴史  
絵巻>常設展<ほんものとの出会い<粟・徳川譜代大名筆頭・井伊家伝伝来の名宝 >などを見学させ  
ていただきました。

そして太鼓門櫓では [彦根城を世界遺産に] ののれんを掲げ PR に懸命さが伝わってきましたが私たち  
同期生は今ひとつ世界遺産には少しさびしいねえ とうちうち話でしたが... 開国記念館では {井伊家  
一四代物語} を映像で見ることができました 初代直政に始まり幕末に至るまでの一四代の藩主の功績  
を年表と映像で紹介されなかなか着る事の出来ない<赤備えの甲冑をつけたり>歴史に弱い方でも興味が  
湧くように設定されて離れがたい場所に出会えました。

玄宮園では、庭園を眺めながらお抹茶をいただき各自天守を仰ぎみながら記念写真をとったりして心静  
かなひとときを楽しみました。400 年前に築かれた天守閣は{落とし積み}。「牛蒡積み」の石垣の積み  
方の違いを体験させてくれました。最後に埋木舎を見学 妙として戻れば庭の柳かな の井伊直弼の句  
が目飛び込んでまいりました。彼は十一代藩主井伊直中の 14 男としたて誕生 5 歳で母を 17 歳で父  
を失ったので藩の定めに従い 3 百俵の捨扶持で彦根城佐和口御門前の公館で 3 2 歳までの 15 年間暮す  
ことになる。和歌を詠じてこの館を埋木舎 と号した 直弼も跡継ぎなどできるとは予想すらできなかった  
がここでの人格形成があったればこそ後に 十三代藩主になられた。

こんな身分がまわってくるとは・とわが身はもだえる程に喜んだ が江戸で何者かに討たれてこの世を去られたが無念だったのはいうまでもないことでしょう。

その後長浜城歴史博物館で一豊と千代の博覧会会場を見学して帰路に着きました。

## 今年のわくわく教室

酒井かづえ

伊丹市立中央公民館主催の「2007 年度夏休みチャレンジわくわく教室」は、10 種類あり、その内の一つの、8 月 22 日（水）が伊丹市文化財ボランティアの会指導の出番でした。タイトルは「伊丹の昔話」の人形劇体験と楽しいおもちゃ作り、10 時から 15 時まで昼食をはさんでの長時間、小学生と過ごしたのはわれわれのチームだけであったと思います。その為か定員 20 名のところ低学年中心に 43 名の参加がありました。

その内容は

（第一部）どんぐり座による紙芝居とペープサート

三軒寺の砂かけ狸 さくら物語 すもんだぬき で、見物後子ども達同志が初めて演じてみてとても楽しかったそうです。

（第二部）昼食タイム おにぎりとブタ汁

例年になく猛暑続きの今年も 0-157 で死亡事件が発生したことにより食事担当は衛生面できびしく言われ、調理の代表者が検便を提出し、手洗いの励行に神経質になりました。従って子ども達におにぎりづくりを体験させることが出来ませんでした。

（第三部）おもちゃ作り

男性スタッフが子どもとおもちゃ作りに熱中すること 2 時間 その結果

ストローの竹トンボ フィルムケースの戦車 紙コップの糸電話 折り紙のコマ  
水鉄砲 ペーパークラフト等さまざまなおもちゃを作って遊び、おみやげに持って帰りました。

われわれ文化財ボランティアの会員の約半数がこの日に協力して下さい、大した混乱もなく終了できましたことを感謝します。 ありがとうございました。





南海電車堺駅でガイドさんと落ち合い、まず駅二階正面の壁画の説明を受けました。入江の南蛮船と荷揚げした梱包品の傍にたたずむ南蛮人達と町衆達に遠巻きの見物人や通行人たちの絵です。この絵により中世の堺にタイムスリップしました。

まず菅原神社に参拝。たび重なる戦火に残った金毘羅宮が菅原神社の拝殿になっており、屋根瓦に金のマークが付いている。合祀されている戎神社と薬祖神社も同じような広さで仲良く祀られている。少彦名神(すくなびこなのかみ)を祀る薬祖神社は、薬の町大阪の道修町の薬祖さんより古いそうだ。開口(あぐち)神社に参ったあと

与謝野晶子の碑へ。「海こひし 潮の遠鳴りかぞへつつ 少女となりし 父母の家」



生家跡は道路拡張によって広い道路となりその歩道に横長の美しい 御影石にアマリリスの浮彫りがあり、晶子を偲ばせる。市内に18基ある歌碑のうちの一つという。

千利休屋敷跡は金網に囲まれた更地に、つぼすみれなどの丈の低い草が緑一面に生えている。飛石が名残の井戸まで続き石碑が立つのみである。利休の切腹の原因は謎とされているが、ガイドさんは「百姓出の秀吉に対する堺人のプライド」と解説される。

南宗寺は利休や師の武野紹鷗が参禅し、侘び茶の精神的基盤を確立したという臨済宗大徳寺派の寺で、唐様と和様の折衷様式の甘露門(山門)などいくつもの重文の建築物をもつ。枯山水の庭に石組造形の山は明るくて気持良かったが、紹鷗や利休たちの碑や墓所のあたりは黒くて大きな蚊に襲われて落ちつかなかった。ここでガイドさんと別れ近くの公園で弁当を開き、次はバスに乗り家原寺へ向かう。

昆陽寺のある伊丹市の私達は行基様を慕って生誕地を訪ねてみたかった。

家原寺は行基菩薩誕生地を行基様37才の時仏閣とされた寺と説明書にある。ご本尊は「智恵の文殊さん」として知られ受験シーズンは合格・昇進祈願と書かれたハンカチを奉納する人が多いという。三重塔が新しいお寺で本堂の文殊堂に参り法話を聞いた。晴天に恵まれてよい堺市訪問だった。 以上

『恋』

乾  
みのり

郵便を待った

昔の淡い恋

さようならが

言えず歩いた御堂筋

恋育て恋を

流した中之島

カーテンを

後手に閉め恋終わる

背伸びせず

老いて身丈に合った恋

ガイド日程・時間	団体・人数
8/2(木) 11:00~12:00	円塾 25名
8/7(火) 13:30~14:00	伊丹国際平和課 45名
9/13(木) 10:30	天理市立南中学校 30名
9/13(木) 13:30	西宮社協
9/14(金) 11:15	大東市立南郷中学 30名
9/15(土) 13:00	招福会歴史散歩会(猪名野神社~有岡 35名)
9/16(日) 10:00~16:00	那珂ふれあい館(有岡城~御願塚) 20名
9/19(水) 12:30~	平城偲ぶの会 15名
9/20(木) 11:00~	北鈴蘭台 45名
9/20(木) 11:30~	北友会 15名
9/20(木) 15:40~	阪神北県民局魅力ある地域づくり課 45名
9/29(土) 14:50~	頼山陽記念文化財団 44名
10/5(金)	伊丹市北中 86名
10/11(木) 15:40~	阪神北県民局魅力ある地域づくり課 45名
10/14(日) 13:30~	徳島バス団体 15名
10/16(火) 14:00~	大阪市立此花図書館 8名
10/17(水) 10:30~12:30	(社)佐保会、奈良支部 26名
10/18(木) 13:00~	兵庫県放送大学伊丹友の会 60名
10/21(日) 10:00~	茶園自治会 60名
10/24(水) 13:00~	大和市(神奈川県)市議会
10/27(土) 10:30~	山芦屋婦人会 20名
10/30(火) 10:00~14:00	伊丹市民の誓推進協議会 30名
11/4(日) 10:00~15:00	親子ふれあいハイキング 50名
11/9(金)	伊丹市北中 86名
11/10(土) 13:30~	さつき循友会 40名
11/15(木) 10:30~	野菊 17名
11/17(土) 10:00~	池尻雨アジサイ会 6名
11/18(日) 11:00~11:30	神戸歴史クラブ 30名
11/25(日) 15:40~	阪神北県民局魅力ある地域づくり課 45名
12/4(金)	伊丹市北中 86名

- ・幹事会・・・原則第一火曜 中公  
8/7 9/4 10/2
- ・定例会・・・原則第二火曜 中公  
8/7(第一火午後)  
9/11  
10/10(水)石橋家
- ・曜日班企画研修会  
9/24(金) 金G 堺市
- ・タイアップ事業・・・  
9/15(土)  
御願塚~ラストH散策  
むぎわら音頭  
どんぐり座 工作
- ・わくわく教室  
8/22(水) 中公
- ・ボランティア祭り展示参加  
10/14(日) 三軒寺
- ・ワンデーウォーク・歩け歩け運動等協力  
10/21(日) 荒牧バラ公園~三軒寺  
10/30(火) カリヨン~スカパ
- ・ガイドブック編集会議  
8/3(金) 10/11(月)
- ・どんぐり座公演  
8/7 定例会  
8/22 わくわく教室  
8/24 四つ葉C  
9/15 タイアップ事業  
9/26 有岡C
- ・各部会  
古文書 第3火pm スワンH  
PC教室第2.4木 pm ラスタH  
どんぐり座第3火 amスワンH

#### 編集後記

イベント報告が多く増ページにしました。活動が活発でなによりです。我々の活動が引き金になって文化財関連の各種イベントが盛り上がり、なお結構。11月には文化財清掃、ロマン事業、年末事業へ・・・それにしてもあったかい秋ですね・・・健康であつてのボランティア皆がんばって・・・ MG